

会 議 名	令和5年度第3回小金井市立はけの森美術館運営協議会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課（はけの森美術館）		
開 催 日 時	令和5年11月17日（金）18時30分～20時00分		
開 催 場 所	市立はけの森美術館 多目的講義室		
出 席 委 員	鉄矢悦朗会長 山村仁志委員 原田隆司委員 坂井文枝委員 加藤治紀委員 中川法子委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	コミュニティ文化課文化推進係 津端 佐原 同 はけの森美術館学芸員 中村、河上、西尾 同 はけの森美術館学芸顧問 河合		
傍 聴 の 可 否	可		
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由		傍聴者数	0人
会 議 次 第	(1) 事業報告等 (2) 意見交換 (3) その他、次回日程調整等		
会 議 結 果	別紙のとおり		
会 議 要 旨	別紙のとおり		
提 出 資 料			

令和5年11月17日（金）

【鉄矢会長】 令和5年度第3回小金井市立はけの森美術館運営協議会を開催したいと思いをします。

まず、配付資料の確認をしたいと思いをします。

事務局のほう、お願いできますでしょうか。

【事務局】 事務局です。まずは、第3回小金井市立はけの森美術館運営協議会の次第が1部、それから、提言記載内容一覧表、それから、意見交換シート、それから、令和2年3月31日付の提言、もう一つが平成27年11月25日付の提言、最後に平成24年3月1日付の提言になります。

以上でございます。

【鉄矢会長】 ありがとうございます。

では、次第の1、運営協議会提言について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】 開始前にお話ししたと重複してしまうんですけども、もう一度、お話をさせていただきます。

今回、記載内容検証結果一覧というものを作りまして、こちらにこれまでの提言をまとめました。24年、27年、令和元年にそれぞれ出ていることがまとめてありまして、「これまでの経過」のところに、これまで実現したことや経過を書いてあります。

提言については事前に委員長とも相談し、本日はざっくばらんにお話いただいて、後日まとめられたらと思いをします。

意見交換シートというのはメモに使っていただければと思いをします。よかったところ、改善が必要なところ、提言の柱だったり、入れたいことが、何となく今日の委員会で皆さんの御意見の中から拾えたらいいなと思いているところです。

提言については、過去のを3つ御用意させていただきました。今後のスケジュールについては、今日は意見交換で、次回が1月12日の委員会にて、通常の事業報告等と併せて、提言の原案を作成。次に、2月16日の委員会で最終修正をして、市長に提出をしたいと思いをします。

【鉄矢会長】 本日はいつもの委員会とは異なり、提言の作成にあたり皆様のご意見を反映させるために、ぜひ本音をお伺いしたいと思いをします。そこで提案なのですが、本日の会議録については「逐次」じゃなくて「意識」でお願いできたらと思いをしますが事務局いかがでしょうか。

【事務局】 承知しました。

(以下、会議内容の要点筆記とする)

会議のなかで提言に含めたい課題・意見として以下の発言があった。

【冷暖房・設備の修繕及び予防的修繕について】

・設備の、冷暖房設備、空調設備、エレベーター設備というのは、確実に改修が必要。さらに、収蔵庫を含め、作品に大きな影響を与える冷暖房に関しては、喫緊の対応が必要。はけの森美術館には多くの作品が保管されており、設備の故障による文化財の大損害を防ぐには、予防的に修繕をする必要がある。

【市立美術館に対する、市のビジョンを明確にし、明文化することについて】

・行政単位で住民を誘い合う時代。人口減の時代の中で、文化的価値は必要なことなんだということは、きちんと認めてほしい。

・様々な市の与件、たとえば、社会福祉があり、いろんな箱物をつくりたいとか、道路を直したいとか、学校をどうしたいとかいう、いろんな予算のせめぎ合いの中で、この美術館のことが際立っていくためには、なぜこれが必要なのかという、市における「美術館の価値」をきちっと、予算をつける皆さんに分かっていただいて、それだったら大事だよねというふうに納得のいく、腹に落ちる形で、最初のところで納得していただく必要があるかなとすごく思う。

・現段階では、美術館が行政単位としての魅力の一つとしても欠かせないものであるというポジショニングがちょっと希薄なのかなと。それが、常勤がゼロであるみたいな結果につながっているのかなと。それ、文科系の行政単位として考えたときに、もちろん、緑もある、何もある、何もある、図書館はないですけどいろんなものがある中で、美術館というのは文化的だし、市民に対する景観価値を考えて重要なものであると思う。

【常勤の職員がいないなかでの美術館の運営について】

・美術館の人員問題について、今まで3回書いていただいて、次に書くと4回目になって

しまうんですが、これで途絶えさせてしまうと、ああ、じゃあもうよくなったのねということになってしまうので、今回も訴えたい。

・これまで、非常勤の方の努力によりかかってきた。やっぱり、非常勤の方だけで、まとめる人も、指示を出す人もいないなかで、企画から日々の運営まで担う。心の衛生状態が悪くなる方が出るような労働環境であったということと言わないと。任期制という任期があって不安定な雇用であったり、常勤というのがないとか、そういうのが多分、本当に心を不衛生にしているんだと思うんですね。これは明らかに変えないといけない、労働環境として。任期の延長等も視野に検討してほしい。

【週6日の開館・閉館期間が長いことについて】

・これまでの提言でも週5日の開館にすべきと言ってきた。閉館期間が長いというが、週6日開館していたら、展覧会を準備する時間が全く取れないので、閉館期間に準備するほかない。5日にしたほうが、準備の時間が多少取れるのではないかな。

・そもそも、常勤もいない中、週4日勤務の非常勤2人を柱に週6日も公共施設を運営しているというのは、無理があるのではないかな。

・委員になって展覧会を毎回見ている。「こんなに面白いことをやっているのに、もっとみてもらい」と思う。悔しいですね。小さなコーナーでもいいから開館していたり、美術館のホームページからyoutubeの動画が見られたりするといいのではないかな。

【財源の確保について】

・美術館として、クラウドファンディングやふるさと納税、企業の協賛などを実施できないかな。

【無料デーについて】

・敬老の日に高齢者の無料デーを実施したら1日に80人の来館があった。今後も何かの機会に無料デーや無料ウィークを実施してほしい。

【収蔵庫について】

・喫緊は冷暖房の修繕が先だが、スペースに限りもある。この問題も無視はできない。

【緑地の手入れ・高木の剪定】

・ただ高木を切ったり、枝を短くしたりすればいいのではない。切ったことでかえって風に弱くなってしまうこともある。専門家を入れて、高木や庭木の在り方のビジョンをつかって、手入れや剪定の計画をつくる必要がある。

【最近の展覧会・学芸員の活躍について】

・鑑賞教室やワークショップ、現代作家シリーズもよくできているなと思います。そういった学芸員の活動の後押しになるような提言を出せたらいいのではないか。

今回でた意見について、次回以降、提言作成のなかでさらに話し合っていく。

— 了 —